

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

●特異的IgE (MAST36)

検査要項

検査項目名	特異的 IgE (MAST36)
項目コードNo.	3701
検体量	血清 0.5 mL
採血容器	容器番号 01: 汎用容器(分離剤入り)
検査方法	CLEIA
基準値	MASTクラス 0 1.39以下(LC)
所要日数	4~6日
検査実施料	1430点(「D015」血漿蛋白免疫学的検査の「11」)
検査判断料	144点(免疫学的検査判断料)
外部委託先	株式会社エスアールエル
備考	判定基準、アレルギー一覧表は別表(裏面)をご参照ください。

受託開始日

●平成 28 年 4 月 28 日(木) 受付日分より

注 1)コード No.3569 特異的 IgE (MAST33)は、4月27日(水)をもちまして検査受託を中止させていただきます。

注 2)特異的 IgE (MAST33)で依頼された場合、特異的 IgE (MAST36)に振替させていただきます

注 3)院内セット及び追加印字は特異的 IgE (MAST36)に振替させていただきます。

※裏面をご覧ください

●特異的IgE (MAST36)

従来の特異的IgE (MAST33)に新たな3つのアレルゲンを組み合わせて、特異的IgE (MAST36)の受託を開始いたします。

新たにアレルゲン(アスペルギルス、トマト、モモ)が追加され、特異的IgE (MAST36)となります。アスペルギルスは、自然界において最も普通にみられるカビの一種で、気管支喘息との関連が知られています。トマトは、ヒスタミンやそれに類似する物質を多く含んでいることが知られています。モモはバラ科の植物でシラカンバやハンノキの花粉と共通の部分があり、これらの花粉が原因でバラ科の食品アレルギーが誘発されることが注目されています。このように、アレルゲン検査において新たにニーズの高い3項目が加わりました。

●アレルゲン一覧

※アスペルギルス、トマト、モモが加わりました。

コナヒョウヒダニ、ハウスダスト1、ネコ皮膚屑、イヌ皮膚屑、オオアワガエリ、カモガヤ、ブタクサ混合物1、ヨモギ、スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、ラテックス、トマト、モモ**、キウイ**、バナナ**、ゴマ**、ソバ*、小麦*、ピーナッツ*、大豆**、米、マグロ、サケ**、エビ*、カニ*、ミルク*、豚肉**、牛肉**、鶏肉**、オボムコイド*、卵白*

* : 食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルゲン

** : 表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルゲン

●判定基準

判定	MASTクラス	ルミカウント(LC)
陰性	0	0~1.39
疑陽性	1	1.40~2.77
陽性	2	2.78~13.4
	3	13.5~58.0
	4	58.1~119
	5	120~159
	6	160~200

●参考文献

中川武正、他：アレルギーの臨床 26(3)：238~242、2006。(検査方法参考文献)

岩崎栄作、他：日本小児アレルギー学会誌 4(1)：87~95、1990